



2008～09 年度
国際ロータリー会長

李 東 建

Weekly Report Niigata



2008～09 年度
新潟ロータリー会長

柴 田 史 郎

新潟 RC 7 月第 5 例会 (2008.7.29 No.2763)

(1) ロータリーソング「我等の生業」斉唱

(2) 柴田 史郎会長挨拶

本日は友好クラブである前橋RCの坂内光政会長以下25名のメンバーと当クラブの9名のゲストをお迎えしての納涼例会であります。天候不順で夕日が見れるか心配ですが、夏の宵の一時をごゆっくりお過ごし下さい。前橋RCには毎年春に観桜会にお招きいただき暖かいおもてなしを頂いておりますことを厚くお礼申し上げます。

前橋RCを簡単にご紹介いたします。設立は1953年で55年の歴史と伝統を誇るクラブです。会員数は106名であり、また今までに6つのクラブのスポンサークラブを勤めておられます。活発な活動をなさっておられる様子は前橋RCのHPを拝見すると良く分かります。このような優れたクラブと姉妹クラブとして交流できます事は、親睦のみならず各メンバーとの意見交換などを通じてロータリーライフに有意義な機会となるかと存じます。群馬と申しますと私は、前橋RCの設立の際の親クラブでありました桐生RC所属のPG故・前原勝樹さんのことを思い出します。心から尊敬申し上げている方です。「ロータリー入門」というご本をお書きで、何度も繰り返し読んでいただいております。

理論と実践いずれが欠けてもロータリアンとは言えない、と。

善意なくしてロータリー活動はありえない、と。また、自己本位ではなく相手の身になっての言動こそが職業奉仕の基本であると繰り返し述べておられます。

群馬との関連でこのような事を思い出しながら、私も皆様とご一緒に今宵有意義な一時を過ごしたいと思っております。

8月5日の例会予定

・ロータリーの情報

「聞いて得になるお話」

ロータリー情報委員長 小山 楯夫君

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigataarc.jp/>

(3) 前橋RC 坂内 光政会長ご挨拶

会員増強月間にちなんで

会員増強委員長 石本隆太郎

「会員増強に特別の治療法や特効薬は無い」というのが私の持論です。生活習慣病の治療と同様、本人自身が病気にかかっていることを自覚し、治そうという気にならなければ、絶対に効果は上がりません。

新潟クラブは地区内最古のクラブとして、常にリーダー的役割を求められ、その期待に答えて来ました。会員数も、1990年代は130余名を数えダントツトップでしたが、2000年代に入ると激減し、現在は80名台を維持するのが精一杯の有様です。

クラブの元気度は、必ずしも会員数のみで計るものではありませんが、出席率、R 財団寄付、米山奨学金寄付等の客観データからも、新潟クラブがナンバーワンでなくなっていることは否定できません。

特に、会員数急減の理由は、地元企業会員の退会増とその未補填にあり、中央大手企業会員の補填が比較的順調であるのと対照的で、今後10年間の会員動向予測をしてみると、危機的状況にあることは明白です。

一昨年の中條 G 年度に地区会員増強委員長を務めた際、「地区内57クラブ会員増強健康診断書」が効果を発揮し、全国34地区会員純増数で“全国第1位！”となりました。 昨年の渡辺 G 年度も“2年連続全国1位！”

となり、地区内57クラブの多くが「健康診断書」により啓蒙されたことは明らかです。

新潟クラブが100名会員クラブへの復活を目指すためにも、“新潟クラブ健康診断書”を作成し、全会員の協力のもと、生活習慣病の治療に当たりたいと念願しております。